

第386回三木市議会臨時会 市長 開会あいさつ

令和7年5月13日

議会の開会に当たり、一言ごあいさつを申し上げます。

清々しい五月晴れが快い季節を迎え、さわやかな風とともに、
木々の若葉は一段と鮮やかに輝いております。

農地を悠然と行き来するトラクターの姿が市内のあちらこちらで見受けられるようになり、これから6月にかけて、本市特産の山田錦の田植えが最盛期を迎えようとしています。

さて、4月13日に2025大阪・関西万博が開幕しました。
大阪・関西万博は、三木市の魅力を国内だけでなく、世界に向けてPRする絶好の機会と捉え、万博が開催される半年間に様々なイベントに出展できるよう取り組んでいます。まず、
4月26日、27日には、「Japan Expo Paris in Osaka」イベントの中で、三木商工会議所及び三木金物商工協同組合連合会が「金物のまち三木」の魅力をPRされました。また、今月26日から30日にかけて開催される「ひょうごフィールドパビリオンフェスティバル2025」においては、三木市によるブ

ース出展のほか、市や民間事業者による金物や山田錦など本市の地域資源に触れ、体験いただく取組として「ひょうごワールドパビリオン」に登録されたプログラムに関連する出展やステージパフォーマンスが行われ、三木市の魅力を多くの方々に体験いただきます。さらに、今月28日から6月1日まで開催される「地方創生SDGsフェス」では、匂いをデジタル化する先端技術を活用して市の課題解決に取り組む事業者と市が連携し、匂いに着目した没入体験を展開します。7月には、三木金物のシンボルである「金物鷲」の展示も予定しています。「金物鷲」については、福井県越前市の越前打刃物で組み立てた「昇龍」と共同展示することで、互いの魅力の相乗効果により、三木金物を海外の方にもPRしてまいります。加えて、6月には「はなやか KANSAI 魅力アップアワード特別賞」受賞に伴う「KANSAI Tourist Information」ブースでのフランス交流事業の紹介や三木市への誘客PR、9月には兵庫県との協働事業として、「三木市の日」が設定され、フランスナショナルデーにおける三木市のPRなども予定しています。

このように、国内外から約2,820万人の来訪が予想されている大阪・関西万博において、三木の魅力を最大限に発信してまいります。さらに、万博を一過性のものとして捉えるので

はなく、チャンスと捉え、多くの方々に三木を知っていただき、興味を持っていただき、経済の活性化につなげてまいります。

また、本日、本市が進めている学校部活動の地域展開の先行事業として、ゴルフクラブの活動が始まります。ゴルフクラブについては、本市の地域資源を活用した取組であり、クラブ員14人で活動をスタートします。ゴルフクラブの活動を通して、ゴルフの技術を学ぶだけでなく、ルールやマナーを身に付けるとともに、他人を思いやる心や困難を乗り越える力を育てたいと考えています。今月1日からは、地域クラブの愛称を募集しています。市民の皆さまに地域クラブに親しみを持っていただけるような愛称を募集するとともに、市民の皆さまに地域クラブをさらに知っていただくきっかけとしたいと考えていますので、多くの方々からの応募をお待ちしています。令和10年1月から、平日・休日を含めた地域クラブ活動のスタートをめざして、取組を進め、将来にわたり子どもたちがスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保できるよう支援してまいります。

そうしたなか、本日、第386回市議会臨時会を開催させて

いただき、議員の皆さまにご参集賜りましたことに、厚くお礼を申し上げます。

本日の市議会臨時会では、専決処分の報告が3件、人事案件が1件の計4件の提案を予定しております。

議員の皆さまにおかれましては、どうか十分なるご審議をいただき、適切なるご決定を賜りますよう、お願い申し上げます。

なお、本会期中におきまして、正副議長選挙をはじめ、各常任委員会委員の選任並びに正副委員長の選出が行われ、新しい議会構成が決定されることと存じますが、円滑な議事運営のうちに、適切なる結果が得られますようご期待を申し上げまして、開会のあいさつといたします。